

| 属性 | レビュー内容 |
|--------------------|---|
| 20代男性・学生 | タイトルに釣られて読み始めたけど、予想以上に心理描写が深くて驚きました。主人公の清田が、ただの変態じゃなくて、いじめられた末に歪んでしまった悲しい人間なんだってことが伝わってきて、なんだか複雑な気持ちになりました。特に、木内さんへの純粋な気持ちと、ヤンキーたちとの関係の間で揺れ動く姿がリアルで、目が離せません。絵も綺麗で、女の子が可愛く描かれているのも良いですね。 |
| 30代女性・会社員 | 正直、読んでいて何度も気分が悪くなりました。主人公のやっていることは、どう考えても許されることではありません。でも、なぜか続きを読むのをやめられなかった。それは、この物語が『非日常』でありながら、どこか現実と地続きな部分を感じさせるからかもしれません。特に、主人公を『道具』として使う女子たちの、悪びれない態度が恐ろしかったです。人間の悪意って、こういう風に現れるんだなと。人には勧めにくいけど、強烈な読書体験でした。 |
| 40代男性・自営業 | 若い頃にこういうアングラな漫画を読んでいた世代としては、非常に懐かしくも新しい感覚でした。主人公のゲスっぷりが見事で、いっそ清々しい。自分の欲望に忠実で、それを正当化していく思考回路は、ある意味で人間の本質を突いているのかもしれません。倫理的にどうかと言われればそれまでだが、フィクションとして、この突き抜け方は見事。こういう作品がもっと出てきてもいいと思う。 |
| 20代女性・アルバイト | 友達に勧められて読みましたが、私には合いませんでした。主人公の行動が気持ち悪くて、どうしても共感できませんでした。ヒロインの木内さんがすごく可哀想で、読んでいて辛かったです。ただ、いじめの問題とか、スクールカーストとか、学校の息苦しい雰囲気がすごくリアルに描かれているなとは感じました。そういう意味では、問題提起をしている作品なのかもしれません。 |